

みんなでつくる新しい坂東市!!

昨年4月の市長選挙において、みなさんに「私の考える坂東市の未来ビジョン」をお伝えしました。就任後の主な取り組み状況についてお知らせします。

教育予算の拡充

●教育現場に信頼を取り戻す

教職員との教育懇談会を中学校単位で実施

●学校施設の整備・充実(小中エアコン)

全小中学校エアコン導入に向けた実施設計完了

●学校給食費の段階的無償化

昨年9月1日から市内小中学校在籍中の第3子以降半額免除。(4月1日から市内小中学校在籍中の第3子以降全額免除予定)

人を育て地域を育てる

●市民協働を推進し、市民が主役の市政運営を実現させる

市民との地区懇談会を13地区(12会場)で実施

●子育て支援の充実(マル福18歳まで対象拡大)

昨年12月1日から医療費無料化制度の対象を18歳まで拡大

●地籍調査事業の早期完了

昨年7月1日から業務体制強化のため地籍調査推進室を設置

安全安心を確立する

●官民による防災協定締結の促進

全国初、全国車載車・レッカー事業協同組合と「災害時における緊急通行妨害車両等の排除に関する協定」の締結

市内郵便局と住民の見守りなど「地域における協力」及び「災害時における協力」の締結

●さしま窓口センターの窓口機能の充実

4月1日から業務体制を強化し、取扱業務を現在の10業務から拡充予定

●水道料金の格差是正

4月1日から料金水準を統一予定

●通学路・生活道路の整備促進

これまでの未整備要望箇所の整理に着手

活力を創造する

●坂東IC工業団地への早期の企業誘致

12区画(11社)が分譲契約締結(残り5区画)

●既存公共施設の利活用方法の再検討

プリオ101跡地利用に向けたプロジェクトチームを設置

岩井西高跡地利用計画を再検討中

昨年4月の市長就任時点において、市の借金である地方債借入残高は、29年度末現在で一般会計が330億円、下水道事業などの特別会計と水道事業会計との合計では460億円となる見込みです。

非常に厳しい財政状況ではありますが、今後の施策の展開にあたっては、費用対効果を念頭に置き、これまでの慣習にとらわれることなく、新たな意識と勇気をもって、新しい坂東市づくりに歩んでまいります。

る環境づくりに努め、未来を託す子どもたちを「オール坂東」で守り育てるまちづくりに取り組んでまいります。

また、本市では市民と行政が共有する目指すべき将来都市像を、「みんなでつくる やすらぎと生きがい 賑わいのある都市(まち)坂東」と定め、将来に向けて希望の持てるまちづくりを実現するため、「ひとづくり」「暮らしづくり」「都市づくり」「仕事づくり」の4つのテーマを設定しました。この4つのまちづくりのテーマが相互に連携することで、バランスのとれた都市の姿を維持し、魅力ある坂東市として大きく発展することを目指してまいります。

結びに、新たに迎えました平成30年も、市民の皆様の思いに寄り添う市政の実現に向け、市民と行政が協働したまちづくりに全力で取り組む所存です。市民の皆様には、市政発展のため、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。すばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。